

シャワートロリー Carevo® カレボ

利用者+
水の重量
200kgまで

シャワーハンドルホルダー

柔軟く交換可能な
マットレス

マットレス着脱が簡単で、
洗浄・消毒が容易にできます。

排水ホース

移動時には
上方へ向けて
固定すること
ができます。



3Dで
見てみよう! >>>

SCAN ME



スマートフォンのカメラでQRを読み取ってください

フレキシゾーン

利用者の身体に
フィットし、
快適な設計です。

持ち手ハンドル

利用者自身が積極的に体位変換
に参加することができます。

柔らかいヘッドピロー

電動式の背上げ機能

背角度が15度まで上がるため、
お湯を溜めた際に耳や鼻に
水が入ることを防止します。

エルゴアクセス・エリア

利用者に近い位置で介助が
できます。

使いやすい操作パネル

介助場所を選ばず、3方向から
コントロールパネルへアクセス
できます。

電動式の高さ調整機能

可動範囲：35cm

4つのキャスター全てに
ブレーキ付き

製品情報

安全耐荷重 (SWL) 利用者 + 水	200kg
利用者の最大体重	182kg
重量 (マットレス含む)	82kg
全長	2,005mm
全幅 (ストレッチャー)	586mm
全内幅 (サイドサポート含む)	759mm~888mm
床面からストレッチャーまでの高さ	605mm~955mm
マットレスの深さ	18.95mm

付属品



バッテリー／2個



充電器／1個

別売オプション品

※詳細は担当営業にお問い合わせください。

専用マットレス単品

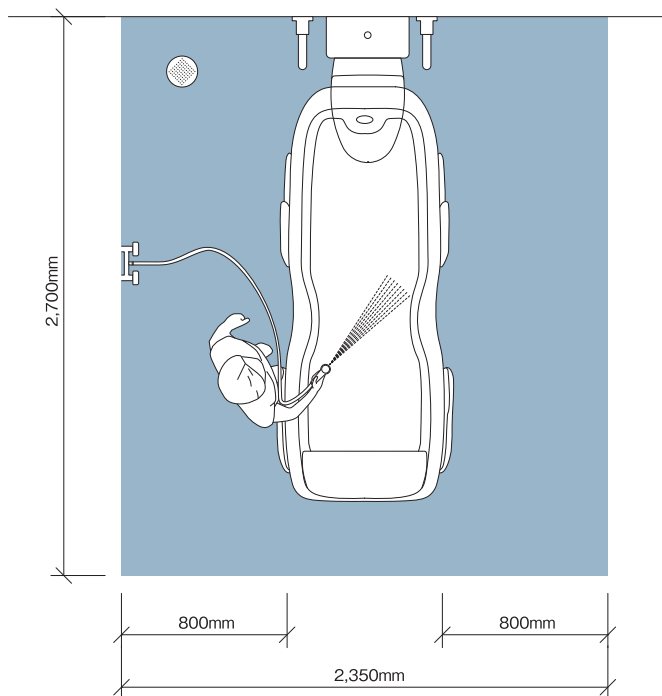
Arjo Slide Sheets

1枚のサイズ：
730×1,730mm
(標準サイズ)

併用することで、ベッド
上での体位変換や水
平移乗をサポートし、
介助者にかかる動的
負荷を軽減



スペース要件



- 青色のエリアは、利用者、機器、介助者に十分なアクセスを提供しながら、衛生管理と移乗を円滑に行うために必要な作業スペースを示します。

品 名	内容量 / 規 格	1梱入数	商品コード	規格番号
シャワートロリー カレボ	本体	1	78660	BAC1117-01

サラヤ株式会社

〒546-0013 大阪市東住吉区湯里2-2-8
<https://www.saraya.com/>

お問い合わせ先 TEL.06-6797-2525

学術的なお問い合わせ先 学術部 TEL.06-4706-3938
(受付時間：平日 9:00~18:00)

SARAYA

導入事例

シャワートロリー「Carevo®」導入から1年

急性期病院が実現した、 スタッフの身体負担の軽減と 「温まる」質の高い入浴ケア

医療法人健仁会 益子病院

〒333-0847 埼玉県川口市芝中田 2-48-6

■ 病床数：115 床（急性期・地域包括ケア）

■ 病院ホームページ：https://mashiko.or.jp/hospital/index.html

※上記のリンク先ウェブサイトはサラヤ株式会社の個人情報保護方針は適用されません。リンク先の個人情報保護方針をご確認ください。



埼玉県川口市に位置する益子病院は、115 床（急性期 93 床、地域包括ケア 22 床）を有する急性期病院です。年間 2,000 件の救急搬送の受け入れを目標に掲げ、地域の急性期医療を支えています。DPC（診断群分類包括評価）制度の導入により在院日数の短縮が進み、急性期病棟ではより症状の重い患者様を受け入れる機会が増えました。

その結果、移乗する際に全介助を必要とする患者様が多くなり、特に洗体などの入浴介助は腰を曲げた姿勢で行う機会が増え、スタッフにとって大きな身体的負担となっていました。

こうした背景から、同院では、2025 年 3 月に「シャワートロリー Carevo®（以下、Carevo）」と、ベッドから Carevo へ患者様の身体を持ち上げず滑らせて移乗できる「スライドシート」を導入しました。

■ 導入製品

シャワートロリー Carevo®

※ Carevo®はarjoグループの登録商標です。



使用対象

自身で身体を動かすことが困難で寝たきりに近い状態の方

■ 導入前の課題：限られた入浴設備と 「お湯に浸かれない」ジレンマ

>「入浴待ち」や「フロア間の移動」など運用面での課題

当院では、通常の浴室を2階から4階の各フロアに1カ所、合計3カ所備え、特殊入浴装置は、臥位での入浴が可能なリクライニング式入浴装置を4階に1台、車椅子用入浴装置は2階と3階に各1台の合計3台備えていました。

そのため、2、3階に入院中の臥位入浴が必要な患者様が入浴される際は、4階へ移動していただく必要があり、患者様の移動の負担に加え、職員の負担にもなっていました。

このような運用の中でも、入浴を希望される患者様をお待たせしないように、病棟間で声を掛け合いながら調整していましたが、それでも入浴をお待ちいただくケースが常態化していました。

>入浴用ではないストレッチャーでの代用

当院では、シャワー浴専用のストレッチャーが無かったため、やむを得ず一般的なストレッチャーを用いてシャワー浴を行うことがありました。しかし、一般的なストレッチャー

- 柔らかい表面素材と特許取得のフレキシゾーン（臀部周辺の床面が沈み込む設計）は、利用者が快適に使えるよう設計

- 高さ調節機能と特許取得のエルゴアクセス・エリア（両サイドサポートのくぼみ）によって、利用者に近い位置で快適な介助姿勢を保つことができる



フレキシゾーン



エルゴアクセス・エリア



簡単なマットレス着脱

Carevo®の
詳しい情報は
こちらから



のマットは撥水効果がなくマットが水分を吸収してしまい、拭き取っても十分に乾燥させることが難しく、衛生面において課題がありました。また、連続して使用する際には、次の患者様が冷たさを感じることもあり、患者様の精神的な負担にもなっていました。

>「温めたい、綺麗にしてあげたい」という願い

浴槽に浸かることが心機能面で身体への負荷となる患者様も多く、シャワー浴のみで対応というケースもありました。しかし、シャワー浴のみでは「身体が温まりにくい」「身体の汚れが落ちにくい」といった課題があり、入浴環境の改善が必要であると考えました。

■ 導入の決め手：機能性と現場で試せる「貸出対応」が安心材料に

製品を検討する中で、実際の現場で使用感を確認できるかどうかは重要なポイントでした。そこで Carevo の実機を借りて試用したところ、お湯を溜めて半身浴ができることと、電動で背角度の調整ができることを確認できました。

また、安静度の高い患者様が多い当院にとって、身体への負担に配慮しながら保温が可能である点は大きな魅力でした。こうした機能面が当院のニーズに合致していたことに加え、実際に入浴介助を担当する看護助手や看護師が自ら操作性や使用感を確認できたことで、「これなら現場で運用できる」という確信につながりました。実機を現場で試せる貸出対応は、導入を後押しする大きな安心材料となりました。

■ 導入後の効果：業務効率とケアの質、その両立 >「隙間時間」の有効活用と患者様の移動負担の解消

Carevo を 1 台導入したことで、各フロアの浴室をより効率的に稼働できるようになりました。以前は、臥位での入浴が必要な患者様は、4 階のリクライニング式入浴装置が空くのを待ち、4 階まで移動して入浴していただく必要がありました。しかし、Carevo 導入後は、スタッフの業務



浴室

の合間の時間を活用しながら、2 階や 3 階の浴室でも臥位での入浴が必要な患者様に入浴いただけるようになりました。また、病室まで直接お迎えに行き、Carevo に移乗していただいた後、そのまま浴室へ移動できるため、従来と比べて移乗回数を減らすことができました。これにより、患者様の身体的負担の軽減に加え、介助する職員の負担軽減や業務効率の向上にもつながっています。



院内移動の様子

>スライドシートによる「ノーリフティング」の実践

現場で特に好評なのが、移乗時に使用するスライドシートです。非常に滑りが良く、スムーズに移乗介助を行うことができます。これまでは 2 人がかりで『よいしょ』と抱え上げていた体重のある患者様も、スライドシートを使用することで少ない力で移乗介助が可能となり、スタッフの身体的負担の軽減につながっています。

また、Carevo は電動で高さを自由に調整できるため、洗体時には作業しやすい高さに設定することができます。その結果、無理な前かがみ姿勢が減り、スタッフの腰痛予防にも大きく貢献しています。



浴室に Carevo を設置した様子

>患者様の満足度向上と皮ふトラブルの減少

以前は、ストレッチャー上でお湯をかけるシャワー浴が中心でしたが、Carevo ではお湯を溜めて浸かることができるため、お風呂に浸かる感覚で身体を温めることが可能になりました。患者様からも「気持ちいい」といった嬉しい声をいただいています。

また、シャワーだけでは落としにくかった皮ふの汚れなども、お湯で十分に温めることで無理なく落とすことができるようになりました。さらに、抱え上げや摩擦による刺激が少なくなったため、高齢の患者様に多いスキンテア(皮膚剥離)のリスク低減にもつながっています。

>メンテナンス性の向上

Carevo は、使用後にマット表面をタオルでサッと拭くだけで水気を除去できるため、短時間で次の患者様に使用できます。以前使用していたストレッチャーは、マットが乾燥するまでに時間を要し、衛生管理の面でも課題を感じていました。一方、Carevo は清掃や乾燥が容易で、衛生的で扱いやすい点も大きなメリットだと感じています。



充電の様子

■ 今後の展望：スタッフが長く元気に働ける環境を目指して

>「負担軽減」がケアの質をさらに高める

スタッフの負担を軽減することは、時間的・身体的な余裕を生み、結果として患者様へのより丁寧なケアにつながると考えています。スタッフが『これは楽だ』『助かる』と実感できることで、日々のケアにも前向きに取り組むことができます。

今後もリフトや立位補助機などの導入を検討しながら、スタッフの身体的負担をできる限り軽減し、誰もが安心して働き続けられる現場環境づくりを進めていきたいと考えています。

今回インタビューをさせていただいた方々



水戸事務長、佐々木看護部長

「今では各フロアで Carevo の争奪戦が起きるくらい活用されています（笑）これだけ喜んで使ってくれているのを見ると、導入して本当に良かったなと実感しますね」

編集後記

益子病院では、Carevo の導入により、「業務効率化」と「患者様の快適性の向上」を両立する新しい入浴ケアの形が定着しつつあります。

また、最新の知見や機器を積極的に取り入れる同院の姿勢は、患者様の療養環境の向上とスタッフの負担軽減の両立を目指す取り組みとして、今後の急性期医療におけるケアのあり方を考える上でも参考となる事例だと感じました。今後とも Carevo をお役立ていただけるよう、導入をご検討中の方や、運用方法などにお困りの方へ有益なご提案をできるよう精進してまいります。

（東京サラヤ株式会社 メディカル事業本部 北関東支店）取材日：2026 年 1 月 20 日



Medical SARAYA Link

医療・福祉関係者向けサイト

感染対策をはじめ、製品情報・学術情報・啓発ツールなど、医療・福祉現場で役立つ情報をわかりやすくお届けします。

最新情報をメールマガジンでお届け



業界ニュースやトレンドをはじめ、現場の情報収集を幅広くサポートします。ご登録は無料です。ぜひご利用ください。